

資源循環型社会の実現を目指して

## キューピー(株)と味の素(株)が協働して 使用済みマヨネーズボトル回収の実証実験を開始

7月1日(月)から使用済みマヨネーズボトル回収をスタート

キューピー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員:高宮 満、以下キューピー(株))と味の素株式会社(本社:東京都中央区、取締役 代表執行役社長 最高経営責任者:藤江 太郎、以下味の素(株))は、マヨネーズボトル※1の資源循環に向けて、株式会社イトーヨーカ堂(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山本 哲也)に協力いただき、イトーヨーカドー溝ノ口店にて、7月1日(月)からメーカー2社協働での使用済みマヨネーズボトルの回収を開始します。

※1 マヨネーズ(JAS 規格)以外の半固体状ドレッシングなどのボトルも対象になります。例)「キューピーハーフ」「ピュアセレクト® コクうま® 65%カロリーカット」など

### ■実証実験の概要

実施期間:2024年7月1日(月)~2025年6月30日(月)

実施場所:イトーヨーカドー 溝ノ口店  
(神奈川県川崎市高津区久本 3-6-20)

回収対象:家庭で使用済みのマヨネーズボトル

- 回収方法:1. フタとシールをはがす  
2. 水を1/3入れて、振って洗う  
3. ハサミで半分に切り、スポンジで洗う  
4. 乾燥させ、マヨネーズボトルのみ回収ボックスに入れる



対象商品一例



回収ボックスイメージ

今回の取り組みで回収された使用済みマヨネーズボトルは、回収量や状態などを確認した上で、両社が協働して資源循環の実現に向けた技術検証に活用します。

マヨネーズボトルの主な素材はポリエチレン（PE）ですが、飲料 PET ボトルに代表されるような水平リサイクル<sup>※2</sup>の仕組みが社会的に実装されていません。今回の取り組みでは、まず生活者の皆さまに、マヨネーズボトルも再資源化できる可能性がある<sup>※2</sup>と理解いただくことが重要です。そのため、回収実証実験においては、使用済みマヨネーズボトルのリサイクル啓発活動も推進します。

※2 水平リサイクルとは、限りある資源を有効に使用するため、使用済み商品の容器・包装を原料として循環させ、再び同じ種類の商品容器・包装を製造することです。

## 【会社概要】

### ■ キューピー株式会社

代表者：代表取締役 社長執行役員 高宮 満  
所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-4-13  
売上高：（連結）4,550億86百万円（2023年度）  
従業員数：（連結）10,642人（2023年11月末現在）  
事業内容：「マヨネーズソース」その他一般ソース類の製造販売 等

### ■ 味の素株式会社

代表者：取締役 代表執行役社長 最高経営責任者 藤江 太郎  
所在地：〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1  
売上高：（連結）1兆4,392億31百万円（2023年度）  
従業員数：（連結）34,615人（2023年3月31日現在）  
事業内容：調味料・食品、冷凍食品、ヘルスケア等製品の製造販売 等

## 【関連情報】

キューピー(株)公式サイトより サステナビリティサイト  
<https://www.kewpie.com/sustainability/>

味の素(株)公式サイトより サステナビリティ活動紹介ページ  
<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/>